

第三號

七十七歲老嫗

一八七四年（明治七年）一月起

1

このたび もん うち た もの はや いそ と はら
此度は門の内より建ち物を 早く急いで取り払いせよ

這一次，要把家門之內的建築物急速拆除掉。

2

そうじ した こと なわむねいそ たの や
すきやかに掃除仕立てた事ならば 縄棟急ぎ頼みいるぞ哉

徹底清除完畢了以後，就要麻煩你們快去丈量
土地的大小啊。

3

真^{しんじつ}實^{そうじ}に掃除^{そののち}をしたる其後は 神^{かみいちじょう}一條^{こころいさ}で心^{こころいさ}勇^なむる

確實地清除完畢以後，全心全意爲神付出，內心踴躍起來。

4

段^{だんだん}々と世界^{せかい}の心^{こころいさ}勇^なむなら 此^{これ}が日本^{にほん}の治^{おさ}まりと成^なる

當世人的內心漸漸地踴躍起來的話，悟區也就會變得和平。

5

いままで なによ こと わか な これ み ふしぎ あいず
今迄は何様の事も分り無い 此から見える不思議合図が

雖然到目前為止什麼事情都還不明白，但接下來就會看見不可思議的信號。

6

こ もの むり こ ゆ な つ く いつ まで よ
来ん者に無理に来いとは言うで無し 付き来るならば何時迄も良し

不來的人不會強迫他來，願意遵循神意的話，
世世代代都能得到祐護。

7

これ みず たと はなし す にご さと と なり
此からは水に例えて話す 澄むと濁りで悟り取る也

接下來要用水爲例來講述事情，用澄清和混濁來去領悟吧。

8

しんじつ かみ こころ せ こ しん はしら はや い
真実に神の心の急き込みは 真の柱を早く入れたい

神的心真正著急的，是希望早點將真柱安置進來。

9

このはしらはや ^い 此柱 ^{おも} 早く入れよと思えども ^{にご} 濁りの ^{みず} 水で ^{ところわか} 処分らん

雖然早就想安置此柱，但因為水很混濁，不知道要安置在哪裡才好。

10

このみず ^{はや} 此水 ^す を早く ^{もよう} 澄ます ^だ 模様立て ^{すいの} 水囊と ^{すな} 砂に ^か 掛けて ^す 澄ませよ

爲了早日將水澄清而作準備，用濾水囊以及濾水砂去淨化吧。

11

この すいの どこ あ おも むね くち すな すいの や
此水囊何処に有るやと思うなよ 胸と口とが砂と水囊哉

不要想這水囊要去哪裡找呀，內心及嘴巴就是
濾水砂及濾水囊！

12

このはなしすみ さと つ そのまま い しん はしら
此話速やか悟り付いたなら 其儘入れる真の柱を

如果能早日領悟這些話的話，真柱就能順利安
置進來。

13

はしら しっかり い こと この よ たし おさ つ
柱さい確り入れた事ならば 此世確かに治まりが付く

此柱若能確實地安置好的話，這世界確實就會安定下來。

14

このはなしさと ほど これさと しょうこだめ や
此話悟りばかりである程に 此悟りたら証拠試し哉

這些話看你們怎麼去領悟，一旦領悟的話便是最好的見證啊。

15

このよう にんげん はじ もと かみ たれ し もの あ
此世の人間創め元の神 誰も知りたる者は有るまい

創造世界人類的元始之神…沒有人知道是誰。

16

どろうみ なか しゅごう おし か それ だんだん さか や
泥海の中より守護教え掛け 其が段々盛んなるぞ哉

從泥海之中教導有關祐護的道理，是從那裡開始漸漸繁盛起來的呀。

17

このたび たす いちじょうおし
此度は助け 一条 教えるも これ な ことはじ か
此も無い事創め掛けるで

這一次教導全心拯救也是一樣，都是從「無」
開始的。

18

いままで な ことはじ か
今迄に無い事創め掛けるのは もとこしら かみ
元 掬 えた神であるから

從至今未曾有過的事情開始教導…因為是創世
創人的元始之神。

19

にちにち かみ はなし やまやま
日々に神の話が山々と つかえてあれど説くに説かれん

神每天都有堆積如山的話想說，卻沒辦法暢快地說出來。

20

なに と こと な ころす き もの な
何にても説かれん事は無いけれど 心澄まして聞く者は無い

沒有什麼事情是不能說的，只是人們的內心尚未澄清聽不進去。

21

すみ 速やかに ^{こころ す}心澄まして ^き聞くなれば ^{よろず}万の ^{はなしみな と}話皆 ^き説き聞かす

想聽這些話的話，快把內心澄淨下來，所有事情都會說給你們聽。

22

このよう ^{たし}此世の ^{ため}確か ^か試しが ^{これ}掛けてある ^{まちが}此に ^な間違い ^{おも}無いと思えよ

這世界真實的「試驗」已經開始了，要知道哦，這些都是千真萬確的。

23

このため すみ み こと いか はなし みなまこと
此試し速やか見えた事ならば 如何な話も皆真やで

這「試驗」如果能即早看見的話，說的任何事情便皆真實無誤。

24

なに か いか はなし と ほど なに ゆ うそ おも
何も彼も如何な話も説く程に 何を言うても嘘と思うな

無論說什麼樣的事情，都千萬別以為有虛假。

25

めえ　め　かみ　ゆ　こと　な　こと　なに　ちよと　し
目に見ん神の言う事為す事は　何をするとも一寸に知れまい

神說的、做的事情，你們眼裡還看不見，所以
到底在做些什麼你們一點也不知道。

26

はやばや　み　はなし　ほど　これ　たし　しょうこ　や
早々と見える話である程に　此が確かな証拠なるぞ哉

說的這些事如果能即早看見的話，就會成為確
切無疑的證據呀。

27

これ み なに き たの いか はなし みなこの どうり
 此を見て何を聞いても楽しめよ 如何な話も皆此道理

看看這些，無論聽到什麼要都感到高興。神說的事情都是同樣的道理。

28

ひと もの か り い はや へんさいれい ゆ なり
 人の物借りたるならば利が要るで 早く返済礼を言う也

借了人家的東西要付出利息，除了需早日歸還以外，還要向對方道謝。

29

こ　よな　おも　ところ　ちが　こ　な　な　かみ　くど　や
子の夜泣き思う心は違うでな　子が泣くで無い神の口説き哉

不要想爲何小孩會在夜裡哭泣，不是小孩在哭，
是神在講述道理呀。

30

はやばや　かみ　し　ほど　いか　こと　しか　き　わ
早々と神が知らしてやる程に　如何な事でも確と聞き分け

這些事神想早日讓你們知道，不論什麼事情都
要確實聽好。

31

おやおや　こころちが　な　よう　はや　しやん　よ　や
親々の心違いの無い様に　早く思案をするが良いぞ哉

爲人父母的呀，內心不要有所偏差，最好早一點開始思考這些道理。

32

しんじつ　ひと　たす　こころ　かみ　くど　なに　な　や
真実に人を救ける心なら　神の口説きは何も無いぞ哉

如果真的懷有一顆救人之心的話，神就不會再嘮叨任何事了呀。

33

銘々めえめえに今いまさい良よくば良よき事ことと 思おもう心こころは皆みな違ちがうでな

只想要現在過得好就好，這樣的心念全是錯誤的。

34

出でがけから如何いかな大道おおみち通とおりても 末すえの細道ほそみち見みえて無ないから

外頭無論是多麼寬廣的大道，到最後都將成為小徑，但你們卻看不見。

35

人間はあざない^{にんげん}者^{もの}であるからに 末^{すえ}の道筋^{みちすじ}更^{さら}に分^{わか}らん

人都是很膚淺的，路走到最後會變怎麼樣沒有人知道。

36

今の事^{いま}何^{こと}も言^なうでは無^ない程^{ほど}に 先^{さき}の往還^{おうかん}道^{みち}が見^みえるで

對於現在的事情不要埋怨，未來會出現一條康莊大道。

37

いま みち いか みち なげ さき ほんみち たの
今の道如何な道でも嘆くなよ 先の本道楽しゅんでいよ

不管現在的路途怎麼樣都不要悲嘆哦，期待將來出現真正的大道。

38

しんじつ たす いちじょ こころ なに ゆ しか う と
真実に救け一条の心なら 何言わいでも確と受け取る

如果擁有一顆全心拯救他人之心的話，什麼話都不必說，神一定會接受。

39

くちさき ついしょう
口先の追従ばかりは要らんもの しん ところ まこと あ
真の心に誠有るなら

若擁有一顆真誠之心的話，任何諂媚的話語都不需要。

40

だんだん なにごと このよう かみ からだ しやん
段々と何事にても此世は 神の身体や思案してみよ

這世界是神的身體，任何事情都好好地去思量吧。

41

人間は皆々神の貸し物哉 何と^{なん}思^{おも}うて使^{つこ}っているやら

每個人的身體都是向神借來的，你們是如何思考、如果去使用的呢？

42

今年には珍^{めづら}し事^{こと}を創^{はじ}め掛^かけ 今迄^{いままで}知^しらぬ事^{こと}をするぞ^や哉

今年會開始出現珍奇的事情，這些都是到目前爲止沒有人知道的事呀。

43

いままで なによ こと せかい なみ これ わか むね うち
 今迄は何様の事も世界並 此から分る胸の内より

到目前為止，所有的事你們都是以世俗之心來看待，但今後要用內心去領悟。

44

このたび たす いちじょ か わがみ ため か うえ
 此度は救け一条に掛かるのも 我身の試し懸かりたる上

這一次要開始全心去拯救，也是先從自己來做試驗。

45

たす 救^{たす}けでも おが 拝^{おが}み きとう 祈^{きとう}禱^いで行^いくで な 無^なし うかが 伺^{うかが}い た 立^たてて 行^いくで な 無^なけれど

雖說是拯救，但不是光靠拜拜、祈禱，也不是只靠請示神意而已。

46

このところよろず こと と き 此^{こと} 処^と 万^きの事を説き聞かす かみいちじょう 神^{かみいちじょう} 一^{むね}条^{うち}で 胸^{むね}の内^{うち}より

在這裡所有事情都會說給你們聽，本著全心為神付出之心，從內心去領悟。

47

わか ようむね うち しゃん ひとたす わがみ たす
分る様胸の内より思案せよ 人救けたら我身助かる

在內心裡去明白，去思考這些道理吧，拯救別人自己也會得救。

48

たかやま せかい いちれつ おも よう まま さき み
高山は世界一列思う様 儘にすれども先は見えんで

「高山」用自己的想法來對待世人，但未來的事他們卻一無所知。

49

だんだん おお よ この たちき ようぼく な もの な や
段々と多く寄せたる此立木 用木に成る物は無いぞ哉

雖然有越來越多樹聚集過來，卻沒有一株能成爲用木。

50

いか き おお よ いが かが これ かな
如何な木も多く寄せてはあるけれど 歪み屈みは此は適わん

不論有多少樹聚集過來，歪曲的、彎掉的，都沒有辦法使用。

51

せかいじゅう むね うち しんばしら かみ せ こ はや み
世界中胸の内より真柱 神の急き込み早く見せたい

神急著掃淨世人的內心，希望早日迎接真柱的到來。

52

せかいじゅう むね うち この そうじ かみ ほうけ しか み
世界中胸の内より此掃除 神が箒や確と見ていよ

看清楚呀，神當作掃帚，要清掃世人的內心。

53

此^{これ}からは神^{かみ}が表^{おもて}い現^{あらわ}れて 山^{やま}い掛^かかりて掃除^{そうじ}するぞ哉^や

今後神出現到人世間來，要到山裡面去做清掃呀。

54

一^{いちれつ}列^{かみ}に神^{そうじ}が掃除^{そうじ}をするならば 心^{こころいさ}勇^{ようき}んで陽氣^{やうき}づくめ哉^や

神把世人的心都清掃乾淨後，世人的內心踴躍起來，四處盡是康樂氣息。

55

何^{なに}も彼^かも神^{かみ}が引^ひき受^うけするからは 何^どんな事^{こと}でも自由^{じゅうよ}自在^{じざい}を

無論任何事情都由神來擔保，對何任事都會賜
予自由自在的祐護。

56

此^{この}度^{たび}は内^{うち}を治^{おさ}める真^{しん}柱^{ばしら} 早^{はや}く入^いれたい水^{みず}を澄^すまして

這一次要將水澄清，早日迎接治理內務的真柱
到來。

57

たかやま しん はしら とうじん や これ だいいち かみ りっぷく
高山の真の柱は唐人哉 此が第一神の立腹

「高山」的中心人物是迷徒，這是最讓神生氣的事。

58

かみ だんだん せかい まま かみ ざんねん なん おも
上たるは段々世界儘にする 神の残念何と思うぞ

上位的人用己意來支配世界。神感到很遺憾，而你們又做何感想？

59

いままで なに ゆ み な このたび せえつう き
今迄は何を言うても見えて無い もう此度は節が来た

至今不論說了些什麼都還沒看見，但這一次時
節已經來臨了。

60

これ ようき づと か なん こと ちよと し
此からは陽氣勤めにまた掛かる 何の事やら一寸に知れまい

今後要再度奉行康樂聖舞，可是聖舞究竟爲何
事，你們一點也不清楚。

61

いままで ^し 知^{はな}りて話^{はな}して話^としとも 説^{なん}いてあれども何^{こと}の事やら

目前為止已經將知道的事說了再說、說了再說，
但你們可知道是什麼嗎？

62

これまで ^{いか} 如何^{はなし}な話を説^といたとて ^ひ 日^きが来たらんで見^みえて無^ないぞ哉^や

到現在為止不論說了哪些事情，時間還沒到所以還沒出現啊。

63

此^{これ}からはもう^{せえつう}節^きが来たるから 言^ゆえば其^{その}儘^{のまま}見^みえて来^くるぞ哉^や

今後時節就要來臨了，所以事情就會像之前說過的一樣顯現出來。

64

確^{しか}と聞^きけ三^{さん}六^{ろく}二^に五^ごの暮^{くれ}合^やいに 胸^{むね}の掃^{そう}除^じを神^{かみ}がするぞ哉^や

仔細聽著，在立教三十六年某月二十五日的傍晚，神要清掃某個人心中的灰塵。

65

思案せよ何^{なん}ぼ澄^すんだる水^{みず}やとて 泥^{どろ}を入^いれたら濁^{にご}る事^{こと}なり也

仔細想想吧！不管是多麼乾淨的水，倒入了泥沙後還是會變得污濁。

66

濁^{にご}り水^{みず}早^{はや}く澄^すまさん事^{こと}にては 真^{しん}の柱^{はしら}の入^いれ様^{よう}が無^ない

污濁的水不趕快澄淨下來的話，真柱便沒辦法安置進去。

67

はしら さい はや い こと まっだいしか おさ つ
柱 さい早く入れたる事ならば 末代確と治まりが着く

這柱子如能即早安置完成的話，世世代代必定
會安定下來。

68

このよう はじ かみ しんじつ と き うそ おも
此世を創めた神の真実を 説いて聞かする嘘と思うな

將神創造此世的實情說給你們聽，千萬別以爲
是假的。

69

いままで しんがく こうき あ もと し もの な や
 今迄も心学口記有るけれど 元を知りたる者は無いぞ哉

至今也有關於修養心性的學問及口記等等，但
 元始之事卻沒有一個人知道。

70

そのはず どろうみ なか みち し もの な はず こと
 其筈や泥海中の道すがら 知りたる者は無い筈の事

這是當然的呀。從泥海之中開始的這條路，其
 歷程沒人知道是很正常的。

71

これまで この よ はじ な こと だんだん と き ことなり
此迄は此世創めて無い事を 段々説いて聞かす事也

至今創世以來未曾有之事，要一點一點說給你們聽。

72

なに か な こと と これ まちご こと な や
何も彼も無い事ばかり説くけれど 此に間違た事は無いぞ哉

盡說些未曾有過之事，但這些都是千真萬確的事情呀。

73

じゅういち く な しんわす しょうがつにじゅうろくにち ま
十一に九が無くなりて芯忘れ 正月 廿六 日を待つ

「十一」與「九」的那一天「芯」將會離開，忘記一切的辛苦。等待一月二十六日那天的到來。

74

このあいだしん つ く よくわす にんじゅうそろ つと こしら
此間 芯も付き来る欲忘れ 人衆揃うて勤め拵え

在這段期間「芯」也會來到此，捨棄欲望，人員齊聚，為聖舞作準備。

75

にちにち かみ こころ せ こ じゅうよじざい はや み
日々に神の心の急き込みは 自由自在を早く見せたい

神的內心每一天都非常著急，想早點讓你們看見自由自在的祐護。

76

これ にんじゅうそろ つと これ たし にほん おさ
此からは人衆揃うて勤めする 此で確かに日本治まる

現在起人員齊聚奉行聖舞，這聖舞確實會讓悟區變得祥和安定。